

平成 29 年度

## 協働取組フォーラム

～NPO と行政による政策協働の展開～

平成29年

日時

12月14日(木)

14:00～17:00 (受付13:30～)

会場

久留米大学福岡サテライト  
福岡市中央区天神1-4-2 エルガーラオフィス6階参加  
無料事前  
申込

- セッション1 ネットワーク型政策協働の取組  
NPO法人グリーンシティ福岡 × 福岡県広域地域振興課  
NPO法人くすの木自然館 × 鹿児島県霧島市環境衛生課
- セッション2 未利用資源活用型政策協働の取組  
一般社団法人小浜温泉エネルギー × 長崎県雲仙市環境政策課  
NPO法人筑後川流域連携倶楽部 × 久留米市新産業創出支援課
- セッション3 マルチステークホルダー型政策協働の取組  
NPO法人おきなわグリーンネットワーク × 沖縄県営農支援課

アドバイザー 山口 純哉氏 (長崎大学経済学部准教授)  
志賀 壮史氏 (NPO 法人グリーンシティ福岡理事)  
鬼沢 良子氏 (NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット事務局長)



環境省では協働取組を推進していくため、平成 25 年度より地域活性化に向けた協働取組の加速化事業を行い、九州・沖縄地域では 5 年間で 5 団体が採択され、モデル事業の実証に取り組んできました。この度、本事業において協働取組を実践した団体、および関係自治体による活動の歩みと現在の取組を発信するフォーラムを開催いたします。

政策協働とは

地域の様々な課題について、自治体の総合計画や環境計画に呼应しながら、行政と民間団体等が協働するプロセスと取組を指します。地域における環境政策推進を行政のみでなく、民間の知恵と工夫を組み合わせながら取組むことで、幅広い巻き込みや自治体間を超えた連携が期待されます。

本フォーラムでは、横断的なネットワーク形成と地域資源を活用する2つの視点から掘り下げていきます。

## 会場アクセス



西鉄福岡天神駅から徒歩5分。入口にご注意ください。



主催：環境省 九州地方環境パートナーシップオフィス EPO九州

後援：久留米大学 経済社会研究所

EPO九州は、環境省により設置された中間支援オフィスです。多様な主体とともに環境保全に向けた協働取組の促進や、ESDの推進を支援・発信しています。https://epo-kyushu.jp

## プロジェクトの紹介



### NPO 法人 グリーンシティ福岡

九州7県にまたがる総延長約3,000kmの「九州自然歩道」を、さらに魅力あるロングトレイルにするため「九州自然歩道フォーラム」（協議会活動）の運営や踏破証制度の運用、「九州自然歩道通信」の発行等を行うとともに、多様な主体の連携による協働型の歩道管理・活用に取り組んでいます。



### NPO 法人 筑後川流域連携倶楽部

筑後川流域では孟宗竹の野放図な地下茎延伸により里山が竹藪化し、農地や林地への侵入や生物多様性への悪影響などが社会問題化しています。この解決の為、竹林・竹材のビジネス活用を通じた人的管理（地下茎延伸防止）を目指し、「竹林の観光利用」「竹材の工業資材化」「筍の農福連携」を、住民、行政、企業との協働で、複数の地域で並行して進めています。



### 一般社団法人 小浜温泉エネルギー

豊富な温泉資源を有する長崎県小浜温泉において、地熱資源を活かした低炭素まちづくりに取り組む協働事業。観光事業を環境保全活動と環境教育を基軸とした温泉エコツーリズムへと発展させ、地域全体で協働して環境保全活動に取り組む持続可能な観光地域づくりを目指しています。



### NPO 法人 くすの木自然館

錦江湾奥の湿地はクロツラヘラサギをはじめとする希少生物の生息地です。本事業では鹿児島県との協働事業で形成されたネットワークを発展させ、自治会と連携した清掃活動や公民館講座等を開催し、行政、自治会、NPOとの協働によるネットワーク型の環境保全活動を進めています。



### NPO 法人 おきなわグリーンネットワーク

沖縄県では地域特有の土壌である赤土等の流出がサンゴ礁などの自然環境に悪影響を及ぼしており、農業、漁業、観光業などへの影響が懸念されています。本事業では、特に赤土等流出の割合が大きい農地での対策活動を、農家、漁業者、小学校、行政等と横断的に連携し取り組んでいます。

## お申込方法

◆メール：必要事項を本文にご記入の上、下記メールアドレスまでお送りください。

◆FAX：下記の申込書に必要事項をご記入の上、お送りください。 FAX：096-312-1894



ふりがな		ご所属 役職	
氏名	他（ ）名		
電話番号		FAX 番号	
E-mail			